



四国中央紙フォーラム2023

参加費無料
事前登録要

四国中央市の産業を象徴するイベントである「紙まつり」も、はや45回を数えるまでとなりました。これも偏に市民の皆様並びに関係者の方々のご支援・ご協力の賜物と感謝申し上げます。

将来の更なる発展を目指し「四国中央市の紙産業を考える会」等で今後の方向性を検討した結果、2012年度より企業の祭典（四国中央紙フォーラム）・市民の祭典（四国中央紙まつり）・学生の祭典（書道パフォーマンス甲子園）を3本柱とし、「紙國の祭典」として取り組むこととなりました。

本年度もその一環として、紙関連産業の企業従事者等を対象にその見識を高めることを目的に『四国中央紙フォーラム2023』を開催いたしますので、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

開催要領

日時：令和5年8月22日（火）10時00分～12時20分

会場：愛媛県産業技術研究所 紙産業技術センター 研究交流棟 2階研修室
四国中央市妻鳥町乙127 TEL：0896-58-2144

内容：裏面参照

定員：100名程度（先着順・事前登録が必要です）

※ 登録完了後、参加証をお送りいたしますので、当日ご持参下さい。

参加費：無料

主催：四国中央紙フォーラム2023実行委員会（以下の10団体で組織しています）

四国中央商工会議所・伊予紙商組合・伊予水引金封協同組合・公益社団法人愛媛県紙パルプ工業会
川之江紙商組合・株式会社紙業会館・公益社団法人法皇青年会議所・愛媛大学紙産業イノベーションセンター
愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター・四国中央市
（順不同）

<申込方法&締切>

裏面申込書に必要事項をご記入の上、FAX・郵送又はメールにてお申込下さい。

令和5年8月10日（木）必着

※申込み多数の場合は、締切前でもお断りする場合がございますので悪しからずご了承下さい。

<申込・問合せ先>

四国中央紙フォーラム2023実行委員会

事務局：愛媛県紙パルプ工業会

（担当：森川・石川）

〒799-0101 四国中央市川之江町4084-1

TEL：0896-58-2055

FAX：0896-58-6240

E-mail：info@e-kami.or.jp

開会挨拶

10:00~10:05 (5)

講演①『「四国中央カーボンニュートラル実現に向けたロードマップ」について』

10:05~11:05 (60)

大王製紙株式会社 エネルギー企画部長 紺家 幸治 氏

四国中央カーボンニュートラル協議会(幹事会社:愛媛製紙(株)・大王製紙(株)・丸住製紙(株)、事務局(株)日本政策投資銀行)は、本年3月30日に『四国中央市カーボンニュートラル実現に向けたロードマップ』(以下、「ロードマップ」という。)を策定・公表しました。

ロードマップにおきましては、①2030年に向け、産学官金が連携し既存技術の実装を推進していくとともに、②技術や政策動向を把握しながら実証実験や新技術の実装(燃料転換)を行うことを想定しています。

本協議会は、事業者、自治体、地元地方銀行、地元教育機関、地元業界団体等の結節点として、地域のカーボンニュートラル実現および地域課題の解決に今後も貢献してまいりたく考えており、ロードマップの一端を、皆様にご紹介させて頂きたく考えています。

<休憩 10 分間>

講演②『物流の2024年問題の影響と求められる対応』

11:15~12:15 (60)

株式会社N×総合研究所 常務取締役 大島 弘明 氏

物流現場では、足元に迫る物流の2024年問題のみならず、長年の懸案であるドライバー不足問題により、安定した輸送力が提供できない、持続可能な物流が維持できない危険性が指摘されています。紙・パルプ関係では、既に「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン」が提示されています。また本年6月2日には、政府による関係閣僚会議のもと、「物流革新に向けた政策パッケージ」が出されました。

そこで、2024年問題とドライバー不足問題の本質とその影響の将来予測を概観するとともに、今後に必要な対応の方向性と手順、具体的な取組事例等を交えながら、発荷主、着荷主、運送事業者の対応や協力関係の必要性等について解説します。

閉会挨拶

12:15~12:20 (5)

『四国中央紙フォーラム2023』参加申込書

令和5年 月 日

事業所名 (団体名)	TEL/ FAX	/
	E-mail	
所在地 参加証送付先	〒	
参加者氏名		所属役職